

UC E ニュース・レター 72

Vol.22, No. 2 Jul. 2021–Sept. 2021 第22巻第2号(通巻72号)

編集：公益財団法人私立大学通信教育協会 発行：令和3年9月30日

〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-16 大学通信教育ビル4階

TEL：03-3818-3870 FAX：03-5803-9939

文部科学省が学校基本調査速報を発表。通信教育の学生数は大学、大学院、短期大学で増加。

文部科学省が令和3年度の学校基本調査速報を発表した。大学・大学院・短期大学の通信教育の調査結果の概要は次のとおりである。本年もコロナ禍の影響により、学生数しか発表されていない。

学生数は大学 214,015 人（男子 97,455 人、女子 116,560 人）、大学院 7,386 人（男子 4,213 人、女子 3,173 人）、短期大学 20,795 人（男子 4,465 人、女子 16,330 人）となっている。前年度より大学で 10,253 人、大学院で 100 人、短期大学で 831 人増加したことがわかる。

また、正規の課程の学生数は大学 170,279 人（男子 78,504 人、女子 91,775 人）、大学院 3,606 人（男子 2,036 人、女子 1,570 人）、短期大学 18,387 人（男子 4,123 人、女子 14,264 人）だった。前年度より大学で 9,134 人、大学院で 37 人、短期大学は 3,348 人増加したことがわかった。

日本通信教育学会が「第69回研究協議会」を開催

日本通信教育学会（会長：鈴木克夫桜美林大学教授）が、来たる10月30日（土）、第69回研究協議会を開催する。研究協議会の概要は、次のとおり。

日 時：2021年10月30日（土）10：00～17：00（予定）

会 場：オンライン（Zoom）にて開催

プログラム：①会長挨拶 ②特別・自由研究発表 ③総会（予定）

④シンポジウム「with コロナ時代の学校教育—通信制高校の教育実践から考える（仮）」

<シンポジウム要旨>

新型コロナウイルス感染症が終息せず、人が集まることがリスクとなった社会の中で、企業や大学においては、テレワークや遠隔会議システムの活用などがかなりの程度進んできた。文部科学省も、GIGAスクール構想を前倒しし、ICTを活用した教育実施体制の整備を急いだ。しかし、初等中等教育段階では、ICTを活用して遠隔教育を推進するよりも、いかに安全に対面による教育を行うかという点にエネルギーが注がれているのが現状であろう。こうした状況を見るに、通学制の課程において、非対面での教育に対する物理的・心理的ハードルは、極めて高いように思われる。一方、通信制の高等学校に目を向けると、生徒の多様なニーズに合わせ、通信による教育と対面による教育（や指導・支援）を柔軟に組み合わせてきた実績がある。そこで本シンポジウムでは、with コロナ時代の学校教育の在り方を、通信制高校の教育実践を切り口として展望したい。

参加費：会員 無料 / 非会員 2,000 円

※当日、プログラム（総会を含む）終了後にオンライン情報交換会を実施予定。

参加の申し込み：申し込みはホームページ（<http://jade.r-cms.biz/>）から。参加希望者は必ず事前申し込みが必要。

◆協会だより◆

秋期合同入学説明会が開催される

2021（令和3）年秋期合同入学説明会が開催された。今春と同じく来場者は、事前予約を行って開催する運びとなった。いずれの都市も緊急事態宣言あるいはまん延防止等重点措置での開催となったため、参加校数や来場者数に影響が出る形となった。なお、昨年の秋期合同入学説明会は開催せず、インターネットでの代替策（WEB入学説明会）で開催した。

開催時間：11：00～16：00

日程	開催地・会場	参加校数	予約最大枠(8/27集計申込延べ人数)	来場者数・天気
8/21(土)	名古屋（愛知県産業労働センター7階）	18	予約最大枠 324 (257)	194名・曇雨
8/22(日)	大阪（梅田劬化ビル7階西10階）	19	予約最大枠 342 (302)	250名・曇
8/28(土)	東京（新宿エルタワー30階）	18	予約最大枠 357 (328)	210名・晴
8/29(日)	福岡（エルガーラホール8階）	15	予約最大枠 324 (132)	115名・晴
合計		70	769名	

第6回大学通信教育メディア授業研究会の開催について

本協会では、令和3年9月15日(水)14:00よりZoomによる遠隔開催にて、大学通信教育政策検討委員会(委員長:川又祐 日本大学通信教育部長、副委員長:小林武夫 学校法人産業能率大学理事)の主催で、大学通信教育メディア授業研究会を開催した。

研究会は、オンライン試験をテーマに第1部と第2部に分けて行われ、第1部では光武健嗣氏(創価大学通信教育部教務課主任)から具体的な実践例として「オンライン試験におけるデジタル上での顔認証による本人確認について」の講演が行われ、活発な情報意見交換等が行われた。また第2部では、正副委員長の司会のもと、参加者によるディスカッションとして、①オンライン試験時における不正行為防止(オンライン試験でのなりすまし防止、発見の方法、発見後の対応を含む)、②成績評価について、が行われた。出席者は41校から73名だった。

情報意見交換会の開催について

本協会では、令和3年9月30日(木)14:00よりZoomによる遠隔開催にて、文部科学省中央教育審議会「教員免許更新制小委員会」の審議等に関する情報意見交換会を、酒井佐知子氏(文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員免許企画室室長補佐)を招いて開催した。

内容は、酒井氏による中教審「教員免許更新制小委員会」のこれまでの審議について」の講演の後、本協会の高橋理事長から「大学通信教育教職課程ガイドラインについて」の説明が行われた。活発な質疑応答があった。参加者は、26校から39名だった。

日本私立大学連盟のシンポジウムに高橋理事長が基調講演を行う

来たる11月6日(土)、一般社団法人日本私立大学連盟では、「ポストコロナ時代の大学教育の未来を考える～通学制と通信制の対話をとおして～」と題して教育研究シンポジウムを開催する。当協会の高橋理事長が基調講演及びパネリストとして登壇することとなった。開催の詳細は次のとおり。

■ 開催概要

日時: 令和3年11月6日(土)13:00~16:30

参加対象: 日本私立大学連盟加盟法人所属の教職員

開催形式: オンライン (Zoom)

参加費: 無料

■ プログラム (詳細・時間等は現時点での予定であり、今後、変更となる場合があります)

13:00~13:10 (10分) 開会挨拶 芝井敬司(当連盟教育研究委員会担当理事、関西大学理事長)

13:10~14:00 (50分) 基調講演「大学通信教育の質保証」講師:高橋陽一氏

(公益財団法人私立大学通信教育協会理事長、武蔵野美術大学造形学部教授)

14:00~15:00 (60分) 事例報告 【遠隔(オンライン)授業の実践に関する取組事例】

「大学教育におけるオンライン授業の位置づけ ~未来に向けた取組み」

講師:北川浩氏(成蹊大学学長)

【デジタル技術を活用したキャンパスに関する取組事例】

「ネクストノーマルを見据えてーグローバル・スマート・キャンパス構想の実現」

講師:藤田高夫氏(関西大学副学長)

15:15~16:25 (70分) パネル・ディスカッション

モデレーター:松浦良充(当連盟教育研究委員会委員、慶應義塾常任理事)

パネリスト:高橋陽一氏(公益財団法人私立大学通信教育協会理事長、武蔵野美術大学造形学部教授)

北川浩氏(成蹊大学学長)

藤田高夫氏(関西大学副学長)

16:25~16:30 (5分) 閉会挨拶 圓月勝博(当連盟教育研究委員会委員長、同志社大学学長補佐、文学部教授)

■ 問合せ: 一般社団法人日本私立大学連盟 広報情報課 (担当:春名、水田、太田)

TEL:03-3262-8672 Mail:koho2@shidairen.or.jp

▼このニュース・レターはホームページでもご覧になれます(URL:<http://www.uce.or.jp/newsletter.html>)。バックナンバーも掲載しています。▼このニュース・レターに関するお問い合わせ、ご意見ご希望は、公益財団法人私立大学通信教育協会(担当/松田)までお願いします(TEL:03-3818-3870 FAX:03-5803-9939)